

セッション聴講者のみ再配布禁止

2023年春の研究討論会企画セッション (20230525)

「廃棄物最終処分場廃止基準の調査 評価方法」の改訂について

埋立処理処分研究部会

2002年部会報告書の改訂方針

「廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法」
(2002年3月)の20年ぶりの改訂

- 新たな法制度への対応
 - 最終処分場跡地形質変更 (2004)
 - 水質環境基準（カドミウムや1,4-ジオキサン）など
- 用語の定義と統一
 - 「埋立地ガス」と「埋立ガス」など
- **第3章「ガス発生非増加基準」の刷新**
 - 判定基準と測定法など

ガス発生・非増加基準に関する議論

• 測定法

- **代表性**の確保：測点数・測定回数・測定時期
- **流量**の測定法：液膜流量計 vs 熱線風速計
- 多様な**ガス抜き管**（**縦型集排水管**）**形状**への対応
- **モニタリング管**の設置方法：設置数と費用
- **安定型処分場**への対応：地表面フラックスの適用

• 判定基準

- （覆土下）**濃度基準**の妥当性
- **発生量基準**の設定と必要性
- **非増加基準**の評価方法
- 跡地**形質変更**制度への対応

本日のメニュー

司会 & 質疑コーディネーター：国立環境研究所 石垣智基

1. **2002年部会報告書の改訂について** 部会長 国立環境研究所 山田正人

2. **廃棄物最終処分場の廃止基準に関わる調査項目の測定の概要**

廃棄物最終処分場の廃止基準における埋立ガスの評価について

埼玉県環境科学国際センター 長森 正尚

3. **調査項目の現場での測定における課題**

① **一般廃棄物処分場における事例と課題**

室蘭工業大学 吉田英樹

② **産業廃棄物処分場における事例と課題**

(公財) 全国産業資源循環連合会処分場早期安定化分科会 穂積篤史

4. **『廃棄物最終処分場廃止基準の調査評価方法』の改訂において埋立ガス測定・評価を含めて、考慮すべき事項**